



▼/ *▼*/ *▼*/ *▼*/ *▼*/ *▼*/ *▼*/ *▼*/

明日から使える!? 商売繁盛のヒント

サービスコンテンツプランナー 小島章裕

《 vol.11 》

[**おすそ分けグッズ**]

隠れたヒット商品になるかも!?

今、わが家のキッチンには白菜とネギ、葉物野菜で溢れかえっています。ありがたいことに両家の実家から旬で無農薬の野菜をたくさんもらうので本当に助かっています。しかし、わが家だけでは食べきれないので、実家の両親はご近所にも配っているそうです。そこで、ひとつひらめきました！ おすそ分け（無料）ではありますが、キッチンと渡したい人にはこんなグッズが欲しかったのではないのでしょうか？

おすそ分けグッズ //

ホームセンターの野菜の種や苗を販売する家庭菜園コーナーに《おすそ分けグッズコーナー》を設けます。このコーナーでは野菜を入れるパッケージを販売します。 ◎ネギを入れる縦長のビニール袋 ◎白菜を包む紙袋 ◎ほうれん草を包むビニール袋 ◎野菜をまとめて入れる小さな段ボール

まるで、スーパーで販売している野菜のようにパッケージ化するグッズを販売します。理由は、タダで差しあげる（おすそ分け）とはいえ、キレイに手渡したい。泥が付いている状態では、受け取った側も置き場所に困ります。そのため、キレイにパッケージするグッズを旬の野菜に合わせて販売します。その方が丹精込めて作った野菜もよりよく見えますよね。パッケージには「レシピ」が見られるサイトを載せることで、も

らった側も料理の仕方に困らない工夫があれば、なおいいですね！ ※
レシピはレシピサイトと提携します。

大型のホームセンターには、業者向けにパッケージ用品が販売されていますが、一般の方には目につきません。種や苗、家庭菜園グッズのコーナーで販売することで、購入機会を増やします。また、おすそ分けグッズがあることで、「これで気兼ねなくたくさん作れる！」とより張り切って野菜作りに励むかもしれません。家庭菜園とはいえ、収穫が始まると一度にたくさんできますので、こんな痒いところに手がとどくコーナー（商品ラインナップ）はいかがでしょう。

-

★アイデアコンセプト★ アフター市場

-



《アイデアの解説》 家庭菜園の小規模な農園でも、農作物は収穫が始まると一度に採れます。そのため、自宅だけでは食べきれず、おすそ分けをします。このおすそ分けが家庭菜園の「アフター市場」。ギフト用の包装紙やリボンと同じです。差しあげやすくなると、もっと作りたくなる。「出口市場」が広がれば「入口市場」もより拡大が期待できます。

※本コラムの内容は作者の意見です。各人の責任においてご利用ください。本件により生じる損害・トラブル等について、一切責任は負いません。

※本コラムの無断転載を禁じます。